

Tx-FWD 計測車の概要

1.概要と特徴

本機は舗装(アスファルト、コンクリート)に衝撃荷重を加え、その時の載荷荷重と複数点の路面たわみ量を測定するものである。

本体はバンタイプの車両に搭載され、荷重載荷ならびにたわみ測定は運転席からの遠隔操作ができ機動的な計測作業が可能です。

本計測車は、バンタイプの車両にFWD(フォーリング・ウエイト・デフレクトメータ)装置一式を搭載したものです。



エンジ九州で活躍中の初号機(フルオプション装備)



2. 特徴

- ・計測位置が従来の中央固定位置⇒横断方向に OFFSET 位置(オプションで左右対応)
- ・国産FWD装置、バンベースで構成する事により、操作性・保守性を向上
- ・たわみセンサにジオフォンを採用し、シンプル機構化と計測能率を向上
- ・計測データはリアルタイム処理、その場で健全度判定が可能
- ・ワンマンコントロールが可能
- ・視認性の良い作業表示板の装備 (オプション)

西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社と株式会社トノックスの共同開発です。(特許出願中 第 2014-171521)

お問い合わせ 株式会社トノックス 計装システム事業部 〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬 2 番 6 号

TEL:0463-73-9151

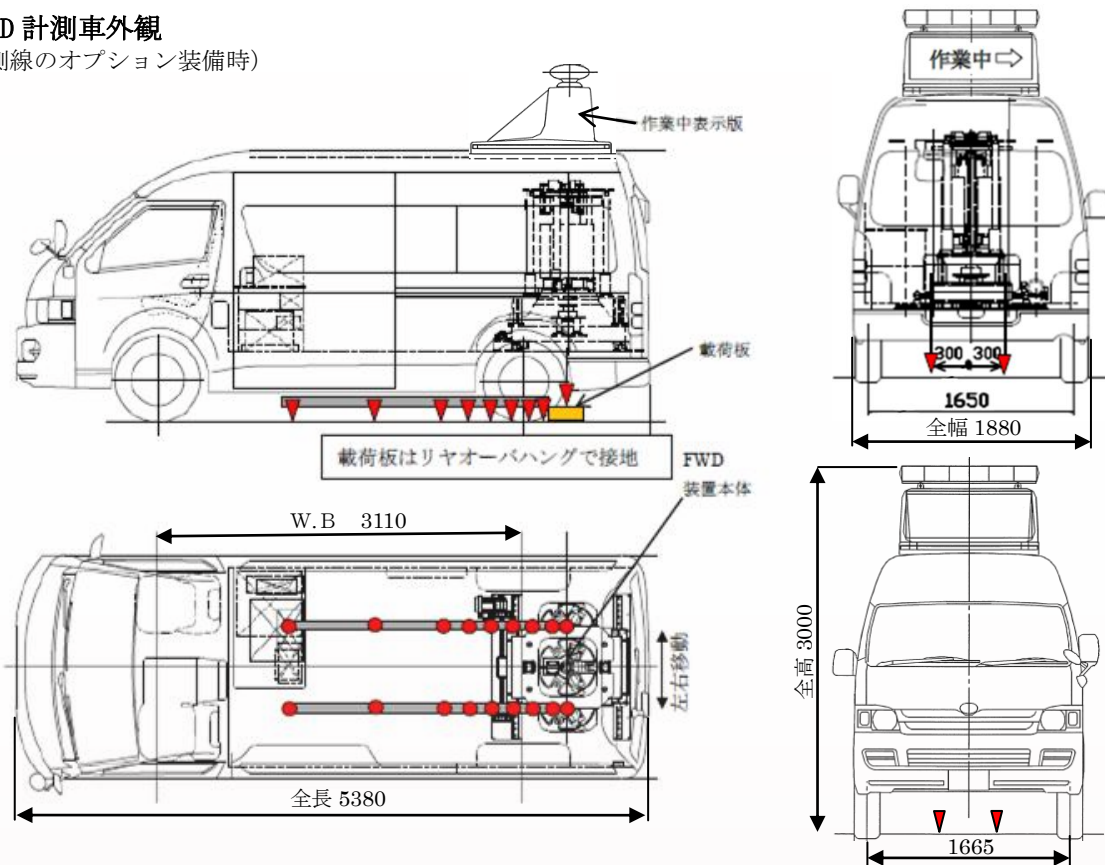
FAX : 0463-23-6655

<http://www.tonox.jp/>

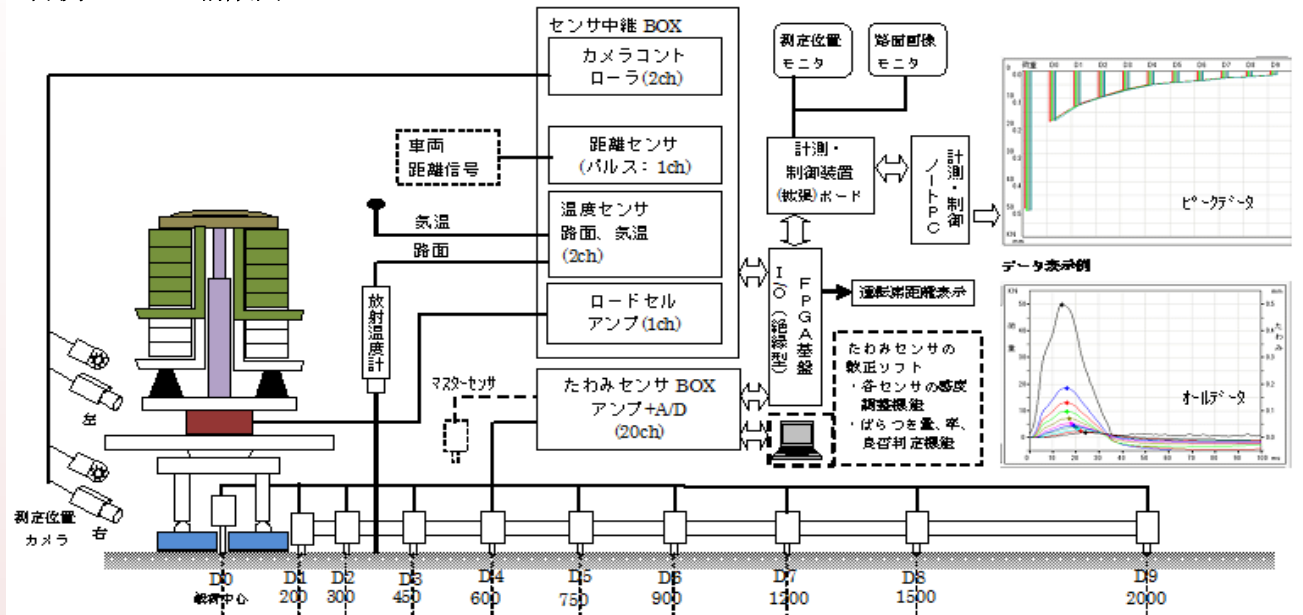
<http://www.tonox.com>

3. Tx-FWD 計測車外観

(2側線のオプション装備時)



4. 計測システム構成図



5. 性能・諸元

- | | |
|------------|--|
| (1) 型式 | T x - F W D |
| (2) 移動方式 | バンタイプ車載型 |
| (3) 載荷方式 | 単重錘方式、垂直載荷 |
| (4) 重錘重量 | 200～400kg |
| (5) 載荷荷重 | 常用5tonf(最大10tonf) |
| (6) 載荷板直径 | 300mm(4分割方式) |
| (7) たわみセンサ | ジオフォン(速度から変位に換算) |
| ・測定位置 | 0、200、300、450、600、750、900、1200、1500、2000mm |
| ・個数 | 10個(1側線):オプション時(20個2側線) |
| ・測定範囲と精度 | ～3mm 2μm |
| ・測定モード | PEAK波形モード、ALL波形モード |
| (8) 温度測定 | 気温1CH(自動)、路面温度1CH(自動) |

仕様は予告なく変更する場合があります。